

芭蕉元禄事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十七年八月度 入選句 (投稿総数千六百六十五句・小中学投句数九百三十四句)

特選

心からおいのりをする終戦日 美濃加茂市 岩井 ののか(中二)

今年は戦後七十年ということで、テレビやラジオ・新聞等で戦争に関することがたくさん報道されました。中学二年生の作者がそんな情報に触れ終戦の日に「心からお祈りをした」のですね。きつと、戦争の犠牲者を心から痛み、平和の大切さを祈ったのでしよう。皆で味わいたい句です。

夏休みいっぱい遊ぶ僕がいた 美濃加茂市 新田 晴希(中二)

作者は中学二年生。夏休みといっても部活や塾・宿題等で忙しくしている人も多いと思います。そんな中で作者は、いっぱい遊べたのですね。そのことを「いっぱい遊ぶ僕がいた」と自分を見つめられたことがいいですね。夏休みへの満足感と新しい自分との出会いに期待できる俳句のよう感じました。

炎天下畑仕事だおじいちゃん 大垣市 鵜飼 麻央(小五)

今年の夏は特に暑かったですね。その炎天下で畑仕事をしてられるおじいちゃんを見て、作者はきつと「暑いのに大変だな。えらいだろうな」と思ったと思います。そのことを句の中に書いていませんが様子や情景から読み手が十分想像していけるよい俳句です。

秀逸

せみの声芭蕉さんを笑わせる 大垣市 小林 知星(小五)

ばしようさんせみのなきごえきこえるか 大垣市 高井 歩乃香(小二)

滝落ちて一面モザイク水ガラス 大垣市 高井 淳矢(中一)

夕焼けが私を一人つくり出す 大垣市 藤墳 紅羽(小六)

ひまわりがゆらゆらゆれてうたいます 大垣市 明石 悠幹(小三)

夏げいこ裸足すり足熱っちっち 大垣市 立川 公希(中一)

負けてないセミよりわが家わらい声 大垣市 多賀 遥(小五)

まじまじと燈台見上げるかたつむり 大垣市 金城 光咲(小六)

校舎からはねかえりくるせみしぐれ 美濃加茂市 美濃輪 万心(中二)

蟬の声必死さ伝わる一週間 美濃加茂市 藤吉 楓(中二)

入選

夏川の流れにしたがうもやい舟	大垣市	小林	汐音(小六)
あまぐもが追いかけてくる梅雨のそら	大垣市	安部	小夏(小六)
アメンボウ川にうかぶよくものうえ	大垣市	ながさわ	まみ(小二)
開いたら世界広がる冷蔵庫	大垣市	成瀬	綾音(中一)
夏の星いつもぼくらをながめてる	大垣市	加納	優介(中一)
夏の山大自然の博物館	大垣市	富田	千尋(小五)
山をこし町を見わたす入道雲	大垣市	早野	恵洸(小五)
久しぶりプールで会える友の顔	大垣市	桑原	啓希(小五)
夏おちば水門川をきょうそうし	大垣市	伊藤	優(小六)
なつこだち友といっしょに詩をつくる	大垣市	松岡	健斗(小六)

入選

川湊水草ゆれて光る水	大垣市	曾我	愛花(小六)
水面に小さな学校アメンボたち	大垣市	中嶋	萌(小六)
夏木立帰るぼくらを見送るよ	大垣市	加納	大舜(小六)
雨あがりゆうがにくらすかたつむり	大垣市	田中	優季(小六)
つゆの空大垣ながめる芭蕉像	大垣市	大橋	広佳(小六)
炎天下それに打ち勝つ部活動	美濃加茂市	岡田	亜弓(中二)
蟻のようみんな団結勝ってやる	美濃加茂市	高井	檀(中二)
つゆおわりぼくの心に虹かかる	美濃加茂市	豊田	空蘭(中二)
つばめ達僕の家にいそろう	美濃加茂市	水谷	蒼空(中二)
雨がえる梅雨の間は絶好調	大垣市	村木	夏実(小六)

選者吟

芭蕉像見上げる子らに蝉しぐれ

祐

子